

# 消費税増税は廃案に 野田内閣やめよ、解散総選挙を

日本共産党、国民の生活が第一、みんなの党など野党7党・会派は、7日、衆院に野田内閣不信任決議案を提出しました。大多数の国民の声に応え、消費税増税法案の採決阻止・廃案の一点で共同する画期的なこと。

日本共産党は、増税法案を世論と運動で廃案に追い込むために全力を上げます。



いたくら正文

愛知10区

1958年生まれ。長野県南信濃村（現在飯田市）出身。日本福祉大学Ⅱ部卒。佐野眼科勤務。一宮市議員4期。◎火曜日の朝は江南駅頭で、日本共産党江南市議団といっしょに力強く訴えを続けています。

衆院選挙制度解説

## 比例は日本共産党

と政党名で

県商工団体連合会が8月4日、栄広場で「消費税増税は許さない！自営業者の怒りの大行動」に取り組み約200人が参加。江南からも尾北民商や消費税なくす江南の

会のメンバーが参加しました。集会では機械部品の下請業者が「元請け企業に消費税分を請求できない。請求すると発注停止になる。消費税は身銭を切っている」と消費税を転嫁できない状況を報告し、「何としても増税中止を」と訴えました。「消費税NO」「野田首相はやめろ」などのプラカードを掲げ、鐘、太鼓を鳴らしながら繁華街をパレードしました。



## 原発なくせ！再稼働反対！ 20万人の全国行動に連帯し、江南でも集会 ～窓を開け手を振っての応援も～ (7月29日)

7月29日（日）、20万人が参加した「原発廃炉」「再稼働反対」国会大包围行動に呼応して、江南市でも江南革新の会の呼びかけで「さよなら原発 from 江南集会」が市役所駐車場で開かれ、約60人が参加。日本共産党議員団3人も参加しました。

集会の後、市内を1時間ほど「原発なくせ」「再稼働反対」「子どもを守ろう」「地球を守ろう」と訴えて行進。参加者はそれぞれの思いをうちわやプラカード、スケッチブックに書き込みアピール。行進の途中から参加する人もあり、沿道では拍手で迎えてくれる人、窓を開けて手を振ってくれる人、「ガンバって」と声をかけてくれる人などに励まされ、「次はいつやるのか」との声も掛かっていました。



東京の国会正門前では、日本共産党の志位委員長をはじめ、民主・自民・国民の生活が第一・みんなの党・みどりの風・社民・新党日本の国会議員がスピーチをしたとのこと。これら議員の所属政党が、真に再稼働反対・脱原発で行動するなら直ちに大飯原

発は止まり、日本のエネルギー政策は、脱原発・自然エネルギーへの転換に大きく舵を切ることができるはず。特に自民・民主の国会議員は、まず自らの政党の方針を転換し、この大きな国民の声にこたえるべきです。

## 震災がれきの試験焼却、江南丹羽では行いません

震災がれきの問題で、市民の方から問い合わせがありました。

江南市のごみ焼却は、扶桑町・大口町との1市2町で構成する江南丹羽環境管理組合が運営する環境美化センター（大口町地内）で共同処理をしています。

瓦礫の受け入れについて江南市と環境管理組合は、県の意見聴取に対し5月8日付で、「組合の焼却炉は流動床式で、瓦礫等の大型ごみの焼却は困難なこと、処理能力も余力がないことから受け入れは難しい状況にある」と伝えました。さらに県から「瓦礫の試験焼却と焼却した際の残さの保管について」の問い合わせが来ていましたが、8月初め「実施しない」と回答しました。

瓦礫処理の受け入れに対しては、放射能汚染やアスベストなど有害物質の周辺環境への影響や健康被害、安全対策などで、住民から不安と批判の声が上がっています。受け入れるかどうかは、徹底した調査と情報公開、住民合意が前提です。瓦礫の受け入れについては、日本共産党愛知県委員会の見解も合わせてご覧ください。（日本共産党愛知県委員会HPの「政策」から）

原発ゼロに！  
政府へ、パブリック  
コメントを送ろう  
（8月12日、18時締切）  
まだ間に合います

◎ 2030年までの日本のエネルギーのあり方について、原発の割合で3つのシナリオを示し、これに対する意見を求めています。

◎ 詳しくは政府のウェブサイト  
<http://www.sentakushi.go.jp/>  
FAX、郵送も可能です。

